

より広く社会に貢献できる企業 グループを目指して、中期経営計画 「廣濟堂リノベーション」を推進

収益力の向上と
財務体質の改善を目指して

廣濟堂グループは、1949年創業の株式会社廣濟堂を中核として、時代の変革の波を的確にとらえ、技術革新と業容拡大を果敢に推し進めながら、印刷、IT、人材サービス、ライフスタイル、出版事業、葬祭関連事業など、多彩な分野で独自の技術・ノウハウを生かした事業を展開しています。

2011年より、2020年をターゲットイヤーとする3段階の中期経営計画を推進。2017年、その最終形となる第3次中期経営計画（2017～2019年度）「KOSAIDO Re-Innovation」（廣濟堂リノベーション）をスタートさせました。

第1次・第2次中期経営計画では、プロダクト中心からサービス中心への転換、新規成長分野の創成、経営管理面の整備促進などにより、新たな飛躍を目指すための下地を整えることができた一方で、コア事業の業績改善、業

■株式会社廣濟堂

創業：1949年1月 資本金：10億円

代表者：代表取締役社長 浅野 健

事業内容：①情報コミュニケーション事業（印刷、IT、BPO、映像、先行技術調査事業等）

②HRソリューション事業（求人、人材紹介・派遣、研修等）

③ライフスタイルデザイン事業（LED エスコ、イベント関連事業等）

■グループ会社

株式会社廣濟堂出版、廣濟堂あかつき株式会社、株式会社廣濟堂ビジネスサポート、KOSAIDO HR VIETNAM CO., LTD.、PT. KOSAIDO HR INDONESIA、威海廣濟堂京友包装有限公司、株式会社金羊社、東京博善株式会社、株式会社トムソンナショナルカントリー倶楽部

績不振関連子会社の経営改善、安定配当の実施などの課題が残されました。

このような状況をふまえ、第3次中期経営計画「廣濟堂リノベーション」では、収益力の向上と財務体質の改善を目指し、コア事業の競争力強化および再構築、事業ポートフォリオの見直し、業態・組織変革の実施、経営管理体制の強化という基本方針を打ち立てました。



就職



入学



誕生

多彩な商品、サービスを提供する廣濟堂グループ



この基本方針をもとに事業、財務、組織に分けて3つの戦略を策定しています。

3つの戦略を策定

① 事業戦略

- ・ 事業ポートフォリオの見直し
- ・ コア事業の競争力強化、事業間での顧客共有によるシナジー発現
- ・ 付加価値創出ビジネスモデルの創造

② 財務戦略

- ・ 拠点集約による資産リストラチャリング*
- ・ 減資実施
- ・ コスト削減など

③ 組織戦略

- ・ 子会社のガバナンス強化
- ・ 投融資基準、管理会計制度の見直し
- ・ 拠点集約による効率化とシナジー創出の土台構築

*本社と都内の主要拠点を集約し、東京都港区芝浦に本社を移転いたします。

本社移転日／2017年10月22日
移転先／〒105-8318
東京都港区芝浦一丁目2番3号
シーバンスS館13階

TEL／03-3453-0550(代)
※電話番号に変更はございません。

人に、社会に、 より広く貢献する事業を

当社の社名である「廣済」には、「広く済う」(広く社会に貢献する)という意味があり、創業時より当社が一貫して追求してきた経営理念です。

中期経営計画「廣済堂リノベーション」においてもその基本姿勢は変わりません。従来の事業の枠組みにとられない柔軟な発想で、社会に広く貢献するためのさまざまな変革・革新を進めていきます。

廣済堂グループが提供する商品やサービスは、教育図書、音楽などのエンターテインメント関連商品、「スニーカーエイジ」※をはじめとするイベント、スマートフォン向けのサービスやコンテンツ、就職活動支援、企業の人材採用・育成支援、暮らしを彩る印刷物や書籍、葬祭など、誕生から人生の終末まで人生のあらゆる場面に結びついています。

今後も廣済堂グループは、新しい時代環境に合った商品やサービスの創造に努めていきます。そして、人や社会に必要とされ、より広く貢献できる企業グループを目指します。

※スニーカーエイジ……関西で40年近い歴史を持つ高校・中学校の軽音楽系クラブコンテスト。2015年度に廣済堂の主催・運営で関東初のスニーカーエイジを開催。今年度は沖縄での開催が決定しています。

